

R-GCD療法

血液内科:

処方医: _____

適応: 非ホジキンリンパ腫

3週毎に1コース

身長: _____ cm 体重: _____ kg 体表面積: _____ m²

DAY 1 (_____ 月 _____ 日) (_____ クール目)

本管		側管	
薬剤名	投与量	薬剤名	投与量
生食100mL 穿刺・プライミング用	1瓶		
		生食100mL グラニセロン注3mg デキサート [30分 点滴静注]	1瓶 1管 39.6mg
		生食100mL ゲムシタビン1000mg/m ² [30分 点滴静注](炎症) 24GIにてルート確保	1瓶
		生食250mL カルボプラチンAUC5 [60分 点滴静注](炎症) アレルギー症状注意 複数回以上数分以内	1袋 プライミング

DAY 2(_____ 月 _____ 日)~4(_____ 月 _____ 日)

薬剤名	投与量	
デカドロン錠	40mg	1×朝食後

DAY 8 (_____ 月 _____ 日)

本管		側管	
薬剤名	投与量	薬剤名	投与量
生食100mL 穿刺・プライミング用	1瓶		
		生食100mL グラニセロン注3mg ポララミン注5mg [30分 点滴静注]	1瓶 1管 1管
		【内服】カロナル錠200mg ゲムシタビン開始時	2錠
		生食100mL ゲムシタビン1000mg/m ² [30分 点滴静注](炎症) 24GIにてルート確保	1瓶
生食50mL ルート内洗浄	1瓶		
		生食 (リツキシマブ10倍希釈) リツキシマブ 375mg/m ² (非炎症性)[投与速度注意] インフュージョンリアクション注意 特に初回~2回に注意	生食でリツキシマブを 10倍希釈する

※リツキシマブ投与速度

投与速度: 投与歴あり。25mL/h(30分)→50mL/h(30分)→100mL/h(60分)→200mL/h

[今回の投与量]

[累積投与量]

ゲムシタビン: _____ mg/body

_____ mg/body

カルボプラチン: _____ mg/body

_____ mg/body

ゲムシタビン: _____ mg/body

_____ mg/body

[腎機能を考慮した投与量の調節]

CBCDA: Carbertの式より算出

投与量(mg/body) = 目標AUC値X(GFR+25) *GFR=Ccrで代用
 [骨髄抑制を考慮した投与量の調節]
 GEM: 投与延期: 当日のWBC2000/mm³未満、またはPLT70,000/mm³未満の場合

[適正使用基準]

1. PS(Performance Status)が0~2である
2. 胸部単純X線写真で明らかで、かつ臨床症状のある間質性肺炎または肺繊維症がない
3. 胸部への放射線療法を施行していない
*4. 重症感染症を併発していない
5. 生理機能が十分に保持され、下の基準を満たす。
6. 心電図上の異常(心疾患、重篤な不整脈)がない
7. CD20抗原に対して陽性である
8. 心肺機能障害がない

[DLF]

ゲムシタピン: 骨髄抑制(WBC,PLT)
 カルボプラチン: 骨髄抑制(WBC,PLT)
 リツキシマブ: 抗体製剤で記載なし
 カルボプラチン: 腎障害時用量調節

血液一般検査	WBC		
	Neut		
	PLT		
	HGB		
血清生化学検査	総タンパク		
	アルブミン		
	AST		
	ALT		
	LDH		
	TBIL		
	BUN		
	クレアチニン		
	Na		
	K		
	CL		
	Ca		
	P		
	CRP		

[DLFを除く重大な副作用]

- 《ゲムシタピン》・間質性肺炎〔咳・息切れ・呼吸困難・発熱等〕
 ・アナフィラキシー様症状〔呼吸困難等〕
 ・心筋梗塞〔胸痛・呼吸困難等〕
 ・うっ血性心不全〔息苦しさ・むくみ・胸痛等〕
 ・肺水腫〔呼吸困難・チアノーゼ等〕
 ・気管支痙攣〔呼吸困難・喘鳴等〕
 ・成人呼吸促迫症候群(ARDS)〔呼吸困難等〕
 ・腎不全〔むくみ・尿量低下等〕
 ・溶血性尿毒症症候群〔紫斑・むくみ・尿量低下等〕
 ・皮膚障害〔紅斑・水疱・落屑等〕

- 《カルボプラチン》・ショック、アナフィラキシー様症状〔チアノーゼ・呼吸困難・胸内苦悶・血圧低下等〕
 ・脳梗塞〔頭痛・意識障害等〕
 ・急性腎不全〔むくみ・尿量低下・検査値異常等〕
 ・麻痺性イレウス〔食欲不振・悪心嘔吐・著しい便秘・腹痛・腹部膨満感等〕
 ・間質性肺炎〔発熱・咳・呼吸困難・胸部X線異常等〕
 ・溶血性尿毒症症候群〔血尿・貧血・検査値異常等〕
 ・心筋梗塞、うっ血性心不全〔胸痛・むくみ・呼吸困難・チアノーゼ等〕